

横浜市青葉区四師会 合同講演会

健康長寿青葉区発well-being
多職種連携により目指す「誤嚥性肺炎予防」

日時：2025年7月5日（土）開演 18:30～（開場 17:30）
場所：メロディアあざみ野 大ホール（あざみ野駅 徒歩3分）



18:30 開会の辞 青葉区医師会会長 山本俊夫

↑申し込みは
こちらから

協賛企業から青葉区の先生方へ

講演1（特別講演） 日本呼吸器「成人肺炎診療ガイドライン2024」
学会「咳嗽・喀痰の診療ガイドライン2025」

作成委員会委員長 迎 寛 教授

長崎大学大学院 呼吸器内科学分野（第二内科）

「肺炎予防・診療における抗菌薬とワクチンの
重要性と歯科への期待」



日本呼吸器学会から2024年に上市された「成人肺炎診療ガイドライン2024」では、肺炎予防においてワクチンに加え、口腔管理の重要性を示すエビデンスが明らかとなり、医科歯科連携の推進への機運がかつてない程に高まっている。本邦は超高齢者会のトップランナーであるため、高齢者肺炎対策を世界に先駆けて切り開かなければならない。これは医療界のみならず、日本社会全体における喫緊の課題といえる。

高齢者肺炎の疾病負荷は甚大であるが、その多くが誤嚥性肺炎である。ワクチン接種や口腔管理によって肺炎を未然に防ぐことができれば、健康寿命の延伸や医療費の削減が可能となる。厚生労働省は、昨年9月末の1週間を「呼吸器感染症予防週間」と定め、肺炎を含む呼吸器感染症に関する啓発を本格的に開始した。今こそ、高齢者肺炎の予後改善、ひいては健康寿命延伸のために、医科・歯科をはじめとする多職種が強く連携し対策を打つ時期にあるだろう。

本講演では、高齢者肺炎が抱える問題点とその解決のために、特に抗菌薬投与とワクチン、そして口腔ケアの意義と重要性に焦点を当て、肺炎予防における多職種連携の必要性について青葉区の先生方と考えてみたい。

講演2

日本歯科医師会；新たな感染症を踏まえた歯科診療の指針

タスクチーム委員 今井 健一 教授 日本大学歯学部 感染症免疫学講座

「誤嚥性肺炎の予後を分ける口腔ケアの重要性」

座談会

座長：青葉区歯科医師会 小杉禎久



閉会の辞

青葉区歯科医師会会長 村田拓也

当日17:30から会場にてミルキンで、自分のお口の動く細菌を見る事が出来ます！



主催：横浜市青葉区四師会（医師会、歯科医師会、薬剤師会、柔道整復師会）

協賛



株式会社 mil-kin



リステリン・ミルキンと藤本美貴さんのイベントの様子→



エンパワーヘルスケア(株)